

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(熊本創生推進機構)

目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。
(記入欄) 所属学生がいないため該当なし。
目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。
(記入欄) 該当なし。
目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。
(記入欄) 例年、男女共同参画推進に関するフォーラムや講座を開催しているが、令和2年度から、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、未実施となっている。今年度は、男女共同参画と災害・復興ネットワーク(JWNDRR)が主催したフォーラム(テーマ「災害にレジリエントな社会をめざして～男女共同参画と災害・復興ネットワークの10年～」)、オンライン開催)に本機構の安部准教授がパネリストとして参加した。 また、熊本転入ママの会「くまてん」の支援活動も行っており、安部准教授が担当しているキャリア科目である「ボランティア実践」履修者や、機構で管理しているボランティア登録者に声をかけ、11名が活動登録をしている。具体的な活動内容として、お母さん方のミーティング中の子供の相手やイベント、ZOOM利用の手伝いのほか、今年度は本学放送部に子供向けの動画制作もしてもらっており(年度内完成)、子守り中に使える読み聞かせ動画(ストーリーは放送部オリジナル)になる予定である。
目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。
(記入欄) 該当なし。

その他：目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。

(記入欄)

本機構安部准教授が市民団体「男女共同参画と災害・復興ネットワーク」のアドバイザー（ボランティア）に就任し、活動中。

※ 各部局で実施したセミナー等の資料等がありましたら、添付してください。

※ 1ページ以内に収める必要はありません。行は適宜広げていただいて構いません。